

# あかまつ

豊岡小学校

校長室だより NO.34

R2.10.7

## ご協力、ありがとうございました！

9月30日（金）、学校田で稲刈り作業を行いました。密を避けるため、2時間目から4～6年生が稲刈りを行い、岡小タイムから1～3年生が刈り取った稲をはさがけ場へ運ぶ作業を行いました。

この日は、子どもたちの家族の皆さん、地域の皆さん、中仙集落環境保全組合の皆さん、田沢疎水土地改良区の皆さんなど、約27名の方が協力に来ていただきました。

最初に4～6年生で「はじめの会」を行い、山手さんから稲刈りの注意点などを教えてもらい、作業に取りかかりました。前日に、子どもたちが刈り取る以外の部分を機械で刈り取っていただき、また、天候にも恵まれたおかげで、作業がスムーズに進みました。

また、ちょっと遅れて作業に取りかかってくれた1～3年生の働きが素晴らしく、豊作だったにもかかわらず、いつもよりも短時間で作業を終えることができました。

地域の方々とのふれあいを深めながら、働くこと、そして、農業への理解を深めることが作業の目的でしたが、作業後の協力してくださった皆さんと子どもたちの笑顔から、大満足の稲刈り作業だったと感じました。お忙しい中、本校の子どもたちのためにご協力くださった皆さん、本当に、ありがとうございました。



【4～6年生と協力者の皆さんで記念写真】



【子どもたちの作業の様子 よく働きます！】



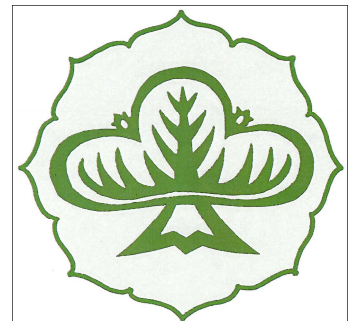
【天日でさらにおいしく】 【主担当の5年生！】

## 豊成小学校の「校章」と「校歌」

保護者の皆さんに公表してもいいタイミングがわからず、報告が遅くなりました。申し訳ありませんでした。

豊川小学校と豊岡小学校が統合して誕生する豊成小学校の校章と校歌が決まりましたので、お知らせします。

校章については、複数の候補の中から、地域を代表する歴史的な価値があり、お互いの小学校になじみがあり、さらに、「児童一人一人が、ふるさとの素晴らしい歴史を継承し、瞳を輝かせて健やかに成長する学校であってほしいという願いを込めて図案化」された右の校章に決まりました。現在は、校旗について検討しているところです。



校歌については、新しいものを作るのではなく、今現在、子どもたちや地域に浸透しているものを残し、豊成小学校で継承していこうという考えの下、豊川小学校の「校歌」と、本校の「郷土を讃える歌」を残すことになりました。豊成小学校では、儀式によってどちらかを先に歌ったり後に歌ったりしながら、継承していく予定です。

なお、スクールバスの運行に関して、現在は、停留所をどこにするかを学校・教育委員会間で検討しているところです。



## なべっこ

6日(火)4時間目から、グラウンドで「なべっこ」を行いました。明け方に雨が降ったことや、風が強かったことなどもあり、外で「なべっこ」ができるか心配されましたが、天候が回復し、強い風も収まりましたので、計画通り、外で行うことにしました。

「あかまつ」前号でお知らせした約束を守りながらのなべっこでしたが、子どもたちは、それぞれの役割(5・6年生は安全に楽しく協力しながら調理をし、4年生は準備していた遊びで下級生の面倒を見て、1～3年生は4年生と一緒に遊び)を果たしながら、なべができてあがるのを待っていました。



【なべっこの様子】

やはり、外で、太陽の温かさを感じ、風のさわやかさを感じ、季節の移り変わりを感じながら、輪になって仲間の顔を見ながら食べる食事は、最高です。5・6年生が作ってくれたなべは、格別においしく、どの班も、あっという間になべが空っぽになりました。ごちそうさまでした。



【距離をとって輪になりながら…いただきま〜す】

食べ終わった後は、縦割り班ごとに、仲良く遊びました。一番人気は「だるまさんがころんだ」でした。仲良く、笑顔で遊んでいる子どもたちの姿を見てみると、「この時間が、ずっとこのままであってほしい」と思うほど、穏やかで、温かな一時でした。天気にも恵まれて、本当によかったです。



【一番人気の「だるまさんがころんだ」】

※ご家庭でも、遊んでみてはいかがでしょうか？



【感想発表をしてくれた学年代表の子どもたち】

そして、なべっこの最後を締めくくるのは、やはり、5・6年生の皆さんによる「なべ洗い」です。前日に、なべの底に洗剤を塗ったり、取っ手にアルミホイルを巻いたりしたおかげで、それほど苦勞せずに、洗い終えることができました。5・6年生の皆さん、ありがとうございました！



【ゴシッゴシッ！ さすが上級生です！】

## 総合的な学習の時間 6年生

9月30日付け「秋田魁新報」県南版に、本校の6年生が、4月から「総合的な学習の時間」で取り組んできた「校舎の利用案」について、中仙支所市民サービス課参事の新山 さん、課長の鈴木 さん、豊岡分館長の高橋 さん、秋田魁新報大曲支局長の高橋 さんにプレゼンテーションした様子が紹介されました。

豊岡小の空き校舎どうする？ 児童が活用 聞いている

会報向け記事 2020年9月30日 13時3分 掲載



お気に入り登録

統合により本年度で閉校する秋田県大仙市の豊岡小学校(新田義孝校長、70人)の児童が、来年度以降の空き校舎をどう活用するか授業で考え、子ども向け施設・スポーツ施設・放課後児童クラブの3案をまとめた。市はこれらの案も参考に活用案を考える。



※写真クリックで拡大表示します  
統合のため本年度で閉校する豊岡小学校の校舎

市は、児童数が減り続けている中仙地域の学校を再編し豊岡、豊川の2小学校を統合。来年度は豊川小の校舎に「豊成小学校」が開校する。1983年に完成した豊岡小の校舎は空き校舎となるため、市が本年度中に活用の方向性を示す。

【秋田魁新報 電子版より】 素晴らしい！

## 収穫感謝祭 中止のお知らせ

11月20日(金)に予定していた収穫感謝祭ですが、新型コロナウイルス感染防止のため、お世話になった皆さんを学校にお招きすることができませんので、今年度は「中止」とします。

なお、お世話になった皆さんには、別の方法で感謝の気持ちを伝えたいと考えておりますので、ご理解くださいますよう、どうか、よろしくお願いいたします。